

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位
専門教育科目	生涯スポーツ論 [Theory of life-long sports]		2
授業形態	担当教員名	実務家教員	ナンバリング
講義 アクティブ・ラーニング	福島 邦男		S-S2069

この授業に関する資格

初級パラスポーツ指導員、スポーツインストラクター、子ども身体運動発達指導士、中高老年期運動指導士

学位授与方針(ディプロマポリシー)との関連

○	豊かな人間性(広い視野、深い思考力)		健康づくりの実践的指導能力
	食、栄養科学の専門的知識	○	健康生活の知識と技術の修得
	健康管理の指導技術の修得	○	実社会に役立つ能力
	運動、スポーツ科学の専門的知識	○	社会に貢献できる実践力

キーワード

生涯、ライフステージ、ライフサイクル論、生きがい

授業の目的と概要

エリクソンのライフサイクル論を参考にして、各ライフステージにおける発達課題達成のためにスポーツがどのような役割、機能を持っているかを理解する。さらに、人生のそれぞれのライフステージにおいてスポーツが自己実現や健康維持、身体的発達と関わっていることを学び、健康生活に役立つ知識を身につける。

学習の到達目標

生涯スポーツの基本的な意義を理解し、健康生活への応用力となる知識を身につけることで、各自が話し合い活動において、生涯スポーツや生きがいについての意見を述べるができる。

回	テーマ	授業内容	AL
1	授業概要	用語の定義(生涯 ライフステージ)	
2	ライフサイクル論	エリクソンのライフサイクル論の概要 乳児期～成人後期	
3	乳児期	乳児期における発達課題と運動	○
4	歩行期	幼児・児童の身体発達の特性	
5	幼児後期	幼児・児童の運動指導のポイント	○
6	学童期	運動が苦手な幼児・児童の指導について	○
7	青年期	青年期における発達課題とスポーツについて	
8	成人前期	成人前期における発達課題とスポーツについて	
9	成人中期	成人中期における発達課題とスポーツについて	○

10	成人後期	高齢期におけるスポーツと生きがいについて	
11	スポーツフォーオール	障がい者スポーツ実施上の注意点や意義	
12	スポーツの安全管理	障がいの有無に関わらず、スポーツを安全に行う方法について	
13	ユニバーサルスポーツ	障がい者スポーツの施策とみんなのスポーツについて	
14	スポーツ大会の意義	オリンピックとパラリンピックの課題について	○
15	まとめ	この講義で取り上げた内容のまとめ	

#### 教科書・参考図書

参考図書:生涯スポーツの理論と実際 大修館書店  
 その他:必要に応じて資料を配付する。

#### 準備学習・事後学習

準備学習(週2時間):この授業のキーワードと毎回のテーマに関する情報を新聞、雑誌、インターネット等から入手し、毎回のミニレポートに生かせるように目を通しておく。  
 事後学習(週2時間):毎時間の資料と返却されたミニレポートは保管しておき、事後学習に活用できるようにしておく。

#### 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

フィードバックとして、ミニレポートへの返信等で前回授業の内容や質問への解説を行う。オフィスアワーでも適宜対応する。

#### 成績評価の方法・基準

毎回のミニレポート70% 課題・提出物30%

#### 関連科目

#### 受講上の注意